

## 基本目標 1 『希望』子どもを産み育てたいという希望をかなえる

## 6. 多子世帯子育て支援事業

【概要】 多子世帯の経済的負担を軽減するため、年収640万円未満相当世帯の保育施設利用の3歳未満児を対象に、多子判定の年齢制限を撤廃し、第2子以降の保育料を無償化する。

## 関連数値目標・KPI

	基準値 (H20-24)	実績 (H29)	目標値 (H31)
合計特殊出生率	1.09	未算出	1.28
	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)
乳幼児を安心して子育てられる環境の満足度※	61%	未算出	75%

※H26：市民意識調査（H26年度）における「乳幼児を安心して子育てられる環境の充実」の満足度（満足・やや満足・普通）

## 国と北海道の制度

- ・国は、年収360万円以上世帯の多子カウントを就学前に制限。
- ・北海道は、年収640万円以上世帯の多子カウントを就学前に制限。360～640万円世帯の第2子を無料としている。

## 多子世帯の負担軽減対策比較(保育施設)

区分	国			道		
	第1子	第2子	第3子	第1子	第2子	第3子
生活保護	無料	無料	無料	無料	無料	無料
非課税	全額	無料	無料	全額	無料	無料
360万円未満	全額	半額	無料	全額	無料	無料
640万円未満	全額	半額	無料	全額	無料	無料
640万円以上	全額	半額	無料	全額	半額	無料

注：縦軸は「多子カウント制限なし」から「あり(就学前)」へ、横軸は「国」から「道」への変遷を示す。緑色の矢印は、国と道で保育料が無料になるケース（例：360万円未満の第2子、640万円未満の第2子）を示している。赤色の矢印は、国と道で保育料が半額になるケース（例：640万円以上の第2子）を示している。

## 市の取り組み

- ・平成29年度4月分の保育料から、北海道の補助金を活用し、保育料の負担軽減を図っている。
- ・事業費は歳出としてほぼ発生しないが、納めていただく保育料である歳入の減少が影響額として発生する。
- ・平成29年度 対象者 151人  
影響額 31,237千円（うち北海道15,618千円）

# 基本目標 1 『希望』子どもを産み育てたいという希望をかなえる

## 8. 男女共同参画推進事業(ワーク・ライフ・バランス推進)

【概要】 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、市民や事業者の意識啓発に取り組むほか、主体的にワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を支援する。

### 関連数値目標・KPI

	基準値 (H20-24)	実績 (H29)	目標値 (H31)
合計特殊出生率	1.09	未算出	1.28
	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)
ワーク・ライフ・バランス推進企業認定数	事業実施前	1件	10件(累計)

### 調査結果

- ・市内の事業所を対象に、労働実態やワーク・ライフ・バランスに対する取組状況等把握することを目的に、アンケート調査を実施。
- ・約7割の事業所でワーク・ライフ・バランスは認知。
- ・従業員の働きやすさや、定着率が高まることなどから取組は必要。一方で、取り組むことができていない現状も明らかに。

意識啓発と各種支援制度の取組の推進

### 取組内容

#### 1. ワーク・ライフ・バランスのセミナーの実施

宝塚歌劇団出身でレスピアンを公表している東小雪さんを招き、LGBTを理解し、誰もが性別にかかわらず職場、家庭など様々な社会活動をいきいきと活躍することを目指し「LGBTを理解する～日本社会の中でマイノリティであること～」と題し講演形式のセミナーを実施。

#### 2. 支援制度の創設と推進

##### 男性育児休業取得助成金

⇒男性の育児参加を促進し、子育て世帯の仕事と育児の両立を支援。中小企業等の事業主に対し支援。(定額30万円)

##### 事業主の声

社員が生まれたばかりの子どもと長く時間を共有することで、今後の業務において良いモチベーションで臨めると思います。会社が率先して育児休業取得の推進を図ることは、社員が家族との時間共有を増やし子育てに取り組む事の楽しさを感じるために不可欠です。

##### 男性育児休業取得者の声

とても充実した時間を過ごさせてもらい会社に感謝するとともに、休んだことで部署の力になれなかった期間があり申し訳無いとも感じました。育児休業を取得した事で感じた、子育ての大変さや子どもと過ごす時間の楽しさをこれから先も続く子育ての糧にしていきたいと思いました。

##### ワーク・ライフ・バランス推進事業助成金

⇒従業員の意識調査、研修、就業規則等の見直しなど、ワーク・ライフ・バランスを推進する中小企業等の事業主に対し支援。(経費の1/2上限10万円)

# 基本目標 2 『交流』 北広島市への新しい人の流れをつくる

## 13. 子育て世代マイホーム購入サポート事業 14. ファーストマイホーム支援事業

【概要】 ファーストマイホーム支援事業では、子育て世帯の移住・定住を促進するため、住宅を取得するための費用を助成。平成30年1月より新制度(子育て世代マイホーム購入サポート事業)に移行。引き続き、住宅を取得するための費用を助成する。新制度では、子育ての安心と親世代の安心につながるような同居・近居への支援などの加算型の事業として実施する。

### 関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H30.2)	目標値 (H31)
社会動態	-92人	+67人	0人
	基準値 (H26)	実績 (H30.2)	目標値 (H31)
制度利用による定住者数	事業実施前	1,847人(累計)	3,250人(累計)

### 1. ファーストマイホーム支援事業

- 対象：50歳未満であり、世帯に18歳以下の子どもがいる者
- 助成金額：50万円

### 2. 子育て世代マイホーム購入サポート事業

- 対象：50歳未満の者(子どものいない方も対象)
- 助成金額：30万円を基準とし、加算要件により最大70万円
- 加算要件：①18歳以下の子どもがいる場合 10万円  
②市外からの転入である場合 10万円  
③親世代が近居・同居の場合 10万円  
④住所が北広島団地地区の場合 10万円

### 成果

○ファーストマイホーム支援事業 (H30年1月末受付終了)      ○子育て世代マイホーム購入サポート事業 (H30年1月開始)

地区	件数	人数	うち転入	件数	人数	うち転入
東部	48	167	86	1	3	3
西部	9	32	28	2	7	7
大曲	42	152	110	1	4	4
西の里	18	66	40	0	0	0
北広島団地	29	111	50	3	11	6
計	146	528	314	7	25	20

〈加算内訳〉①7件、②6件、③4件、④3件

# 基本目標 2 『交流』 北広島市への新しい人の流れをつくる

## 17. ふるさと応援事業

【概要】 市の知名度向上を目的に、来市に誘導できるような、直接まちを知ってもらい、感じてもらえるようなふるさと納税返礼品を贈呈することにより、交流人口の増加を図る。

### 関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H30.2)	目標値 (H31)
社会動態	-92人	+67人	0人
	基準値 (H26)	実績 (H30.2)	目標値 (H31)
返礼品による来市者	導入前	84人	100人(累計)
ふるさと納税額	3,108千円	23,740千円	25,000千円

### 取組の推進体制

- ・平成29年4月1日から「来市を誘導できるような、直接まちを知ってもらい、感じてもらえる品」をコンセプトに返礼品を導入。
- ・現在、19事業者、31品を登録。

### 成果

	寄附件数	寄附金額
平成27年度	17件	25,037,568円
平成28年度	13件	2,500,000円
平成29年度	1,735件	23,740,100円

### 返礼品と使いみち

#### 1. 返礼品

コンセプト: 来市を誘導できるような、直接まちを知ってもらい、感じてもらえる返礼品

**【体験型・訪問型】**  
12品

- ・ゴルフプレー券
- ・ホテル宿泊券
- ・温泉利用券
- ・農作業・調理加工体験

**【特産品】19品**

- ・白い恋人
- ・ジェラート
- ・お米
- ・ハム・ソーセージ
- ・おせち など



#### 2. 使いみち

当市ふるさと納税における「使いみち」は、以下10項目から選ぶことができる。

- ①地域福祉、②緑のまちづくり、③人材育成、④市庁舎建設、⑤奨学金、⑥地域振興、⑦義務教育施設整備、⑧生涯学習振興、⑨農業後継者等育成、⑩特に指定しない

「使いみち」の指定数 (H29年度上位5つ)

- ①特に指定しない
- ②地域福祉
- ③緑のまちづくり
- ④農業後継者等育成
- ⑤奨学金

## 19. 北広島団地イメージアップ事業

【概要】 市内5地区のうち高齢化率が最も高い北広島団地に若い世代を呼び込み、多世代が暮らす地区形成を図るため北広島団地の愛称を設定し、若い世代にも響くようなイメージ戦略を推進する。

### 関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)
北広島市を住みよいと感じる市民満足度	77%	未算出	80%
	基準値 (H26)	実績 (H30.2)	目標値 (H31)
北広島団地地区における若い世代(25~44歳)の人口割合	18%	15%	20%以上

### 取組内容

様々なコンテンツを活用した団地地区のイメージアップ

#### 1. 北広島団地イメージアップ動画

北広島団地地区が持つ魅力の「見える化」を図る

- ・「北広島団地＝戸建住宅群」にイメージチェンジ
- ・「ヒゲさん一家」の実写版で、北広島団地地区での1日の生活を紹介



#### 2. 多世代交流サミットの実施

～こうなったらいいな！これからの北広島団地～  
北広島団地地区のこれからのについて、子どもからお年寄りの方まで世代を超えて、ざっくばらんに話し合うサミットを開催

#### 3. 移住促進モニターツアー

団地の魅力子育て世代の方に実感してもらうため、実際にまち歩きをしながら、住環境や子育て支援施設等を見学。将来の移住先の候補に。

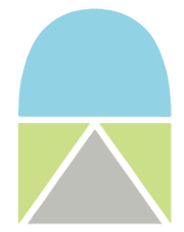
- ・オーダーメイドツアー
- ・空地・空き家巡り

移住を検討する場合に**重視**すること = ツアー後、北広島団地で**魅力**として感じたこと

#### 4. 愛称とロゴマーク

「散歩道」を基に考案した造語。トリムコースをはじめとする「道」公園や運動施設、豊かな自然、広い空等「まち」全体に、健やかな生活を叶える環境が広がっていることを表現。

一緒にゆっくり、歩いていこう。



さんぽまち  
KITAHIROSHIMA-DANCHI

#### 5. その他

- ・イオンモール札幌苗穂におけるきたひろ魅力体感イベント
- ・北広島団地魅力発信動画コンテスト

# 基本目標3 『成長』 時代に合った魅力的なまちをつくる

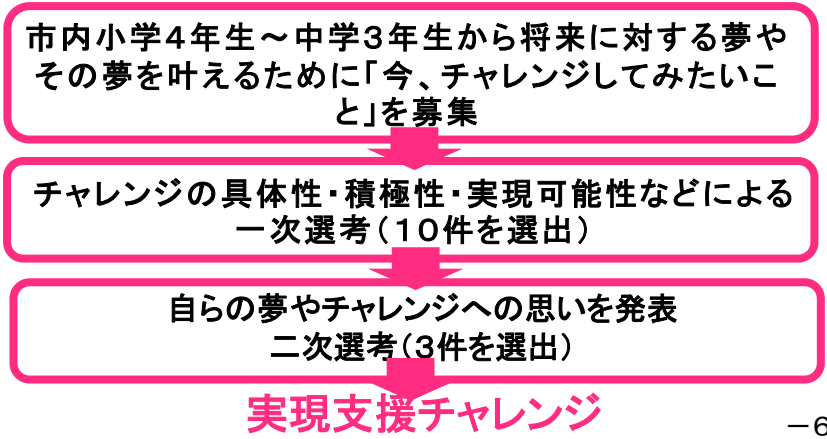
## 25. 子ども夢チャレンジ応援事業

【概要】 子どもたちが持つ大志を将来実現するために「今チャレンジしたいこと」を、まち（市民、企業、団体、行政等）が一丸となってサポートし、さらにはこのまちへ愛着を持ってもらう。

### 関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)
北広島市を住みよいと感じる市民満足度	77%	未算出	80%
	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)
夢実現サポーター数	—	19件(累計)	30件(累計)
チャレンジ支援数	—	6件(累計)	12件(累計)

### 募集から選考まで



### 支援内容

#### JAXAで働いて、世界で活躍できる人になりたい

- 宇宙研究を行っている大学教授や学生と交流
- JAXAで働く方から、仕事内容や組織の役割を学ぶ
- 宇宙開発の現場に直接触れる



#### 杜氏になりたい

- 酒蔵で製造者と共に実際の日本酒造りを行う
- 市内農家で日本酒となる米の収穫体験を行う
- 道内唯一の現役女性杜氏と対談する



#### 落語家になりたい

- 落語の本場で研修を行い、落語家と交流する
- プロの落語家から指導を受ける
- 観客の前で落語を披露する



平成29年12月23日に芸術文化ホールにおいてチャレンジ実現報告会を開催。チャレンジの実現に携わっていただいた方や各学校の先生、その他多くの市民の方の前で、自らの言葉での報告、また来場者とのトークセッションを実施。

# 基本目標 3 『成長』 時代に合った魅力的なまちをつくる

## 26. (仮称)東京きたひろしま会設立事業【平成30年度より東京北広島会運営事業】

【概要】 全国で活躍する北広島市にゆかりのある会員が相互に連絡を取り合い、交流することによって、当市への移住促進、企業誘致、人材育成など、まちづくりの様々な分野における首都圏との幅広い人脈やネットワークをつくる。

### 関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)
北広島市を住みよいと感じる市民満足度	77%	未算出	80%
	基準値 (H26)	実績 (H30.2)	目標値 (H31)
会員数	—	79人	100人

### 取組の推進体制

全国のあらゆる情報は東京圏に集中しており、様々な動きに迅速に対応するためには、地方が積極的に情報収集に取り組んでいくことが重要



首都圏においてふるさと会を組織する必要性

- ・平成29年1月 発起人会準備会開催
- ・平成29年7月 5名の発起人により発起人会を開催し、設立総会に向けて準備を開始

### 活動内容

#### 「東京北広島会」設立総会・交流会の開催

- 日時 12月3日(日)
- 場所 東京都港区のホテル
- 内容
  - 第1部：設立総会
    - ・会則の決定、役員を選定を経て会が発足
  - 第2部：記念行事「東京北広島会設立記念 落語からのプレゼント」
    - ・北広島高校出身の春風亭柏枝氏による落語、なぞかけの作り方
  - 第3部：交流会
    - ・会員の交流、最近の北広島紹介、ふるさと納税返礼品の試食等
- 参加者 46名

#### 【当日の様子】



平成30年度は、運営基盤を強化するために、さまざまな媒体を活用して引き続き、会員の拡大に努めるほか、今後の事業展開を見据えつつ、魅力的な会としていくための方策、市の施策とどのように連携していくかということについても検討

# 基本目標4 『挑戦』 チャレンジできる環境をつくり、起業と雇用を促進する

## 35. 働きたい女性のための企業合同雇用促進事業

【概要】 求人ニーズとして高い状況にあるパート従業員の採用を中心に就業セミナー、合同企業説明会、企業見学会を実施し、企業の労働力確保の促進を図るとともに、働きたい女性に就業機会を提供する。

### 関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)
市の産業・雇用の市民満足度	53%	未算出	60%
	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)
企業と連携した雇用促進事業への参加企業数	事業実施前	25社	10社以上

### 取組の推進体制

- ・市内の事業所を対象に実施した労働事情調査によると、子育てが一段落した40代女性の中途採用が多く、また労働市場の人手不足の解消には女性の労働参加促進の必要性が高い。
- ・求人業務の効率化を図るとともに、働くことに不安を抱える主婦層等にイベントを通じて就職意欲の促進を図る。

**働きたい女性のための就職支援**

### 取組内容

#### 1. 合同企業説明会の実施

(1) 合同企業説明会  
 10月9日(月・祝) 参加企業15社 来場者21名  
 10日(火) 17社 10名

(2) 就業セミナー

開催日	内容	参加者数
10月9日	パーソナルカラー講座	11
	望ましい夫婦の働き方	12
10月10日	パーソナルカラー講座	5
	女性の働き方「私らしく働くために」	12



合同企業説明会参加に伴う就職決定者 2名

#### 2. 企業見学会

10月19日(木) 見学企業4社 参加者1名  
 28日(土) 4社 3名

